

採種園のスギ（特定母樹・少花粉品種）にジベレリン処理（葉面散布）をしました

日時：【1回目】令和6年7月8日（月） 【2回目】令和6年8月8日（木）
場所：香川県森林センター 採種園

スギの花芽分化時期は、雄花が6月下旬から7月、雌花が7月から9月頃とされています。その時期に植物ホルモンの一種であるジベレリンを与えると、翌春の花の数が増え、それに伴って球果がつく量が増えることがわかっています。

香川県森林センターでは「林業用育種種子の増産試験」として、また、令和4年度からは他の林業試験研究機関との共同研究である「採種園におけるスギ特定母樹の特性を把握し、さらなる品種開発を進める」ことを目的に、ジベレリン処理を実施しています。



① 特定母樹、少花粉品種ともに3区画に分けて3年周期で実施しています。



② 短い周期で多くの花をつけると、木が弱って枯れる場合があります。（画像は参考）



③ 粉末状のジベレリンを使います。



④ 濃度は100ppmです。



⑤ よくかきまぜて水に溶かします。



⑥ 背負い式噴霧器のタンクに移します。



⑦ 花芽がつく枝葉の先端部を中心に、十分にかかるように散布します。



⑧ 散布直後の木に近づく、葉や若い球果がきらきらと輝いて青空に映えていました。

今年の秋は、昨年散布した木についての球果の数や種子の重さを調べる予定です。

冬には種子の発芽率と、今年散布した木についての雄花の量を調べる予定です。

その様子もレポートでお伝えしたいと思います。